

SORATO NRT エアポートシティ構想

成田空港は第2の開港に向けて、拡張事業等の取組が本格化する中、空港と周辺地域が一体となって発展していくためには、地域の将来を見据えた道筋をつける必要があります。

こうした状況を踏まえ、空港周辺地域において目指すべき産業・暮らし・交通・ダイバーシティ・サステナビリティを一体で検討するための議論の出発点として、SORATO NRT エアポートシティ構想を策定しました。

本構想を呼び水として、国・県・周辺市町・民間企業など、様々なステークホルダーによる議論を活性化させ、具体的な施策や事業につなげていきます。

推進体制

ナリタ NRT エリアデザインセンター

更なる航空需要の創出や日本の経済発展、国際競争力の強化を図るため、国際的な産業拠点の形成など、エアポートシティの実現に向けた取組を強力に推進していくことを目的として、令和7年4月、千葉県と成田国際空港株式会社による新たな組織を設立しました。



APPROACH

アプローチ

ビジョンを実現するための “4つのアプローチ”

産業・イノベーション

- 世界水準の航空・先端産業クラスター形成
- 医療・農業・観光の、空港を核としたグローバル拠点化
- 物流の効率化・高度化
- 規制緩和・制度導入



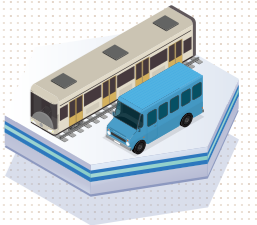
ウェルビーイング

- 空港と高度産業を支える人材育成・集積
- 選ばれる魅力的な居住エリア・景観・コミュニティ形成
- 里山・田園・海・川と共生する新たなライフスタイル
- グローバルで高質な教育環境整備



交通・モビリティ

- 複合的な広域幹線道路ネットワーク整備
- 鉄道アクセスの充実
- 周辺のまちづくりを踏まえた効率的な地域公共交通の実現



ダイバーシティ・サステナビリティ

- 誰もがその人らしく生きる・分かり合える地域社会の実現
- 空港と地域で環境に配慮した統合的取組を推進
- 空港を核とした防災拠点の確立



ROADMAP ロードマップ

- 構想実現に向けて、①構想期、②実行期、③展開期、④定着・持続期の4段階のフェーズを設定
- 各ステークホルダーが主体的・積極的に参画し、産官学が有機的に協働・連携する推進体制を構築

エアポートシティ構想の詳細はこちら



VISION

ビジョン

誰もが輝き、世界と響き合う

「フラッグシップ・エアポートシティ」



CONCEPT

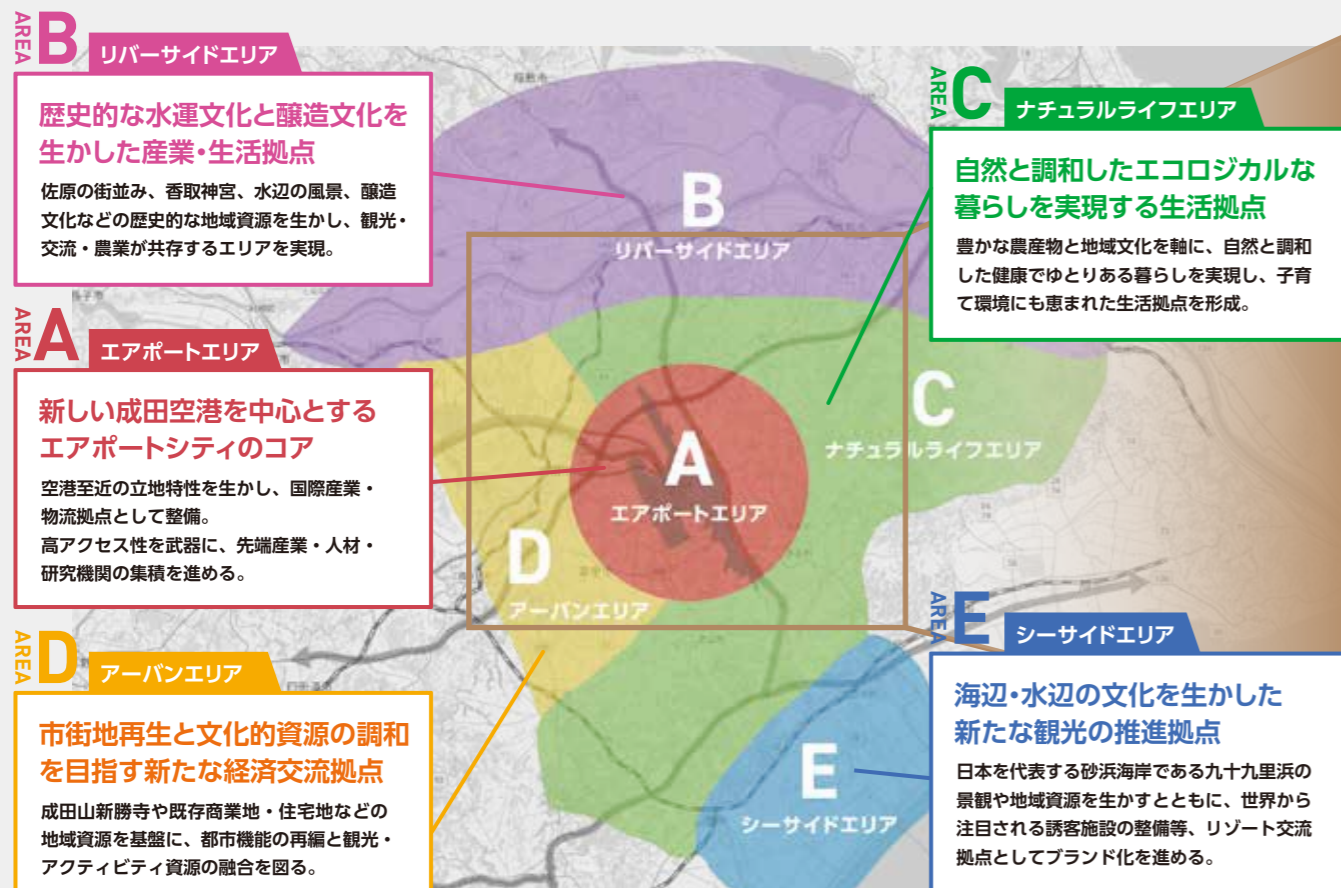
- 成田空港の国際競争力獲得、日本の成長戦略を牽引する重要な国家プロジェクト
- 世界の活力を取り込み、我が国、成田空港、周辺地域が本来有するポテンシャルを最大限に発揮
- 世界をリードするモデル都市圏への変貌

FUTURE

- 世界で日本を輝かせ続けるフラッグシップ・エアポートシティへ
- 次世代産業育成・DX活用等による活力創出
- 国際産業拠点形成、日本で最も国際的なまち=未来志向型エアポートシティ
- 空港地域固有のアイデンティティ・景観形成

ZONING ゾーニング

5つのエリアが連動して世界をリードする空港都市圏を形成



エアポートエリア内の4ゾーンが連動、空港と地域の成長を牽引

